

平成24年度子どもたちとつくる

「やさしいまち伊勢市」支援事業

<取り組み紹介>

☆四郷小学校☆

【5年生】車いす体験（バリアフリーについて学ぶ、9月25日）

子どもたちは、車椅子体験を通して、車椅子を利用している方の目線をまず体験した。そして、学校での段差、トイレ、出入り口などのバリアを見つけたり、それらの改善点について学んだ。

車椅子体験を通して、高齢者・障がい者への理解と、自分たちの生活との係わりについて考える機会となった。



【6年生】ステップワンとの交流（11月1日）

ステップワンの入居者と6年生児童との卓球ラリーを通して交流を深めた。子どもたちは、入居者の方と一っしょにスポーツをすることで、相手の気持ちを考え、楽しく活動

できるような気配りを自然と身に付けることができた。多くの人と一っしょに活動する楽しさ、価値を実感できた交流会であった。



【全校児童対象】障がい者理解についての講演会（10月15日）

四郷小出身の「東世古真由」さんをお招きして、「仲間・友だちのすばらしさ」についてお話をしていただいた。東世古さんは、中学2年のとき交通事故で脊髄を損傷し下半身が麻痺し、車椅子生活になった。半年後、中学校に戻る際、大変不安な気持ちであった。それが、友だちはいつもの「東世古真由」として受け入れてくれた、ただ足が不自由なため車椅子を使っているだけという対応をしてくれた。「不安な気持ちや車椅子というハンディーが、友だち（仲間）のやさしさでハンディーでなくなった。」と話された。最後に、「一人でいる友だちがいたら、そばに座ってください。」と強調し、友だち、仲間の持っている力の大切さを全校に伝えてくれた。



☆二見小学校☆

二見の町たんけんをしたり、障がい者の生活の疑似体験をしたりする活動を通してみんなが住みよく利用しやすい町にするにはどうすればよいかについて考え、話し合った。また学習したことをパソコンを使ってまとめ、発表したり実践したりした。

全盲の方による講話

アイマスクでの歩行体験

アイマスクをして飲食体験



UDさがしの町たんけん

点字ブロックもさまざまな所に 写真を撮って発表



<成果>

- ・ユニバーサルデザイン（UD）についての知識を身につけることができた。
- ・身近なところにあるユニバーサルデザイン（UD）に、興味・関心を持つようになった。家族で出かけた時などにもユニバーサルデザイン（UD）を見つけ、みんなが住みよく利用しやすい町を意識して考えることができるようになった。
- ・学習したことをパソコンを使ってまとめる活動を通して、見やすく分かりやすく伝えるにはどうしたらいいか考え、表現力を伸ばすことができた。

☆豊浜東小学校☆

＜正邦苑訪問＞



＜福祉集会＞



＜点字学習＞



＜あいさつ運動＞

